



2009・3・16

第 122 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

9 条と 25 条を結びつけて理解を

事務局主催の学習会に 150 人

3月14日、「九条の会」は事務局主催の学習会「深刻な経済危機と憲法9条」を開き、会場いっぱいの150人が参加しました。

学習会では、まず神戸大学教授の二宮厚美さんが、「世界同時不況と構造改革政治の破綻——憲法25条の復権を」と題して講演。二宮さんは冒頭、「こんにちの世界同時不況の原因は格差と貧困そのものにある」と指摘し、異常な資本主義がどのように格差を拡大し、その結果破綻したかを明らかにしました。そのうえで、「憲法9条と25条は双子の兄弟であり、9条が生きていなければ25条も生きられないし、25条ががんばってこそ9条も生きる」と話しました。

つづいて「九条の会」事務局員で慈恵医科大学教授の小沢隆一さんが、「憲法9条の破壊を許さない力を——派兵恒久法・海賊対策法案をめぐって」と題して講演。政府は制定当時から憲法9条解釈を大きく変化させてきているが、国民のたたかいで海外における武力行使や集団的自衛権の行使を公然とおこなわせていないこと、海賊対策法案でそれらを取り扱う突破口を切りひら

「九条の会」講演会

—加藤周一さんの志を受けついで

◇と き 6月2日(火) 午後6時30分

◇と ころ 千代田区 日比谷公会堂

◇講 師 井上 ひさし (作家)

大江 健三郎 (作家)

奥平 康弘 (憲法学者)

澤地 久枝 (作家)

(現在確定分)

加藤さんのお連れあいの矢島翠さんも参加

き、派兵恒久法に結びつけようとしていることを指摘。たたかいの盛り上げをよびかけました。

《感想文から》

◆経済構造の実態をたいへん分かりやすく、かみくだいて説明していただき、認識を新たにすることができました。会場も盛況で力を得ました (男・41歳・会社員)

◆サブプライムローンを原因とした世界危機の仕組み、仕掛けがわかりやすく話されて良かった。解釈改憲の歴史がよく理解

できた。(男・74歳・年金生活)

◆9条と25条を持つ国と持たない国、米国との違いが胸に応えた。

◆私どもは日々9条の行動、勉強会等を継続していますが、世界をとりまく状況が日々変化し、なかなか一緒に行動できなく悩んでいます。今日、小沢教授のお話を直接きけたことは大きな力になりました。

(男・66歳・契約社員)

交流しあい互いの運動に学ぶ

【宮城県】 宮城県内の九条の会の交流集会が2月14日開かれ、県内51の九条の会から150人が参加しました。今年で6回目ですが、昨年からは県内九条の会で実行委員会をつくり準備をおこなっています。

全体会では「みやぎ憲法9条の会」の河相一成事務局長が情勢報告。また、「ごごた憲法九条の会」は戦争体験を語る小集会について、「駅東九条の会」は署名をしてくれた人に「戦争ほうき」と名づけた小さなほうきを渡している取組みについて報告しました。

午後は、情勢学習の分科会と活動交流の分散会に分かれて討論。分科会では名古屋高裁のイラク派遣違憲判決の意義や、ソマリア沖の海賊対策問題などが論議されました。分散会では、大看板の設置や成人式で平和のメッセージを入れた袋を手渡す運動の経験などが交流されました。

【福島県】 「福島県九条の会」は2月14日、全県活動交流集会を開き、県内45の「9条の会」から110人が参加しました。

「県九条の会」よびかけ人の吉原泰助・元福島大学学長は、県内には準備会を含め104の「会」があることを紹介、「それぞれ

《改憲動向情報》

国民投票に向けた準備

いま開かれている地方自治体の3月議会では、新年度予算案が審議されています。ところが、その中には、「国民投票にかかる投票人名簿システムの整備委託」（東京中野区・約1100万円）、「国民投票に係る投票人名簿調整システムの構築」（京都市2600万円）といった項目が。国民投票の投票人名簿作成のための経費です。財源は全額国庫委託金。

総理府はこのため総額46億2千万の予算を組んでいます。そのほかにも国民向け宣伝のためのリーフ2千万枚、ポスター5万枚も作製の予定。

国民投票法案には18項目の付帯決議がつき、憲法審査会がいまだに始動できていないことなど全く無視した動きです。

が、苦勞と優れた活動の経験をもっている。交流を深めてほしい」とよびかけました。「九条の会」事務局長の小森陽一さんが講演しました。

活動についての発言では、「桑折町九条の会」から、「戦争展などの取り組みをする際には全町に案内チラシを届けるようにしている。3年間の活動で300人の賛同者が生まれ、募金をよびかけたら3万円以上集まり、財政の大変さが少し克服された」という経験が紹介されました。

「相馬市九条の会」からは、「毎月の学習会は手間をかけず、テキストを準備して読み、意見交換をする。これが楽しくてたまらないという人もいる」、5人で作成している8ページだての月1回のニュースは「雇用の問題なども憲法との関係で伝えるようにしている」との報告がありました。